

社会資本総合整備計画 事後評価

(道路通常・防災安全)

(滝沢市)

平成29年10月16日

社会資本総合整備計画 事後評価（道路通常・防災安全）

交付対象 滝沢市
交付期間 H22～H26

計画名： 生きがいと安心の生活を目指した、だれもが暮らしやすいまちづくりのための快適な道路環境の形成
だれもが暮らしやすいまちづくりのための安全で安心な社会資本の整備(防災・安全)

計画の目標

- I 地域経済基盤と地域間交流を確立する基盤づくり
学術研究機能の集積を活かしたIT産業・ものづくり産業の創出、地域資源を活かした地場産業の振興を図るため、産業経済活動と地域間交流を支える基盤づくりを行う。
- II 生きがいと安心の生活をおくるための基盤づくり
生きがいと安心の生活をおくるため、通学児童・生徒が利用する道路の歩道設置、交差点改良を進め、快適で安全な地域社会を実現する基盤づくりをおこなう。

事業内容

- ・道路改良舗装事業・路肩拡幅事業・舗装補修事業・歩道設置事業・橋梁補修事業・除雪事業 等

計画期間と範囲

平成22年度から平成26年度までの5年間 滝沢市内

成果目標

- ・市道の改良率（改良済市道延長）÷（市道総延長）×100 について
平成22年当初に 55.4% であったものを
平成26年度末に 56.9% とする。
- ・歩道の整備率（歩道整備済延長）÷（市道総延長）×100 について
平成22年当初に 12.0% であったものを
平成26年度末に 12.9% とする。
- ・要舗装繕市道の舗装繕率
（舗装繕済市道延長）÷（要舗装繕市道延長）×100 について
平成22年当初に 0.0% であったものを
平成26年度末に 80.0% とする。

事業実績

道路通常 20要素事業
防災安全 7要素事業

事業例

- ・土沢1号線外（平成24年度第1外山線歩道設置工事）

【実施前】

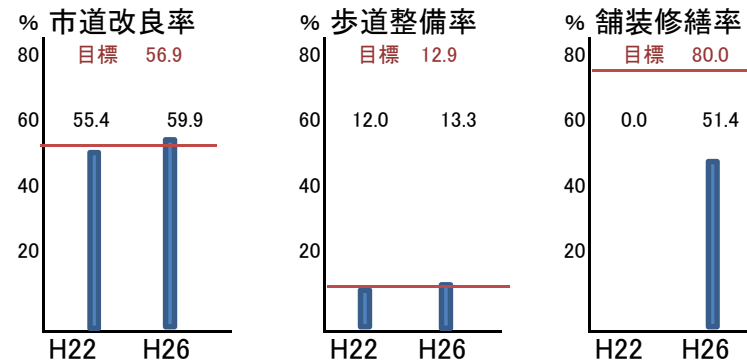
【実施後】



・事業実施により保育園や小学校付近の歩道が整備され安全な歩行空間が確保された。

成果目標の達成状況

- ・市道の改良率が高まったことにより、整備された路線とその周辺で車両通行時の見通しや安全性が高まった。
- ・歩道整備率が高まったことにより、歩行者の安全性が高まった。
- ・舗装繕率が高まったことにより、走行環境が向上した。



今後の方針

- ・事業を継続して安全性の効果発現に寄与する。
- ・産業経済の振興のためにも地域間のアクセス性を改善していく。

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 29年10月16日

計画の名称	10 生きがいと安心の生活を目指した、だれもが暮らしやすいまちづくりのための快適な道路環境の形成			
計画の期間	平成22年度	～	平成26年度	(5年間)
計画の目標	交付対象 滝沢市			

I 地域経済基盤と地域間交流を確立する基盤づくり
 学術研究機能の集積を活かしたIT産業・ものづくり産業の創出、地域資源を活かした地場産業の振興を図るため、産業経済活動と地域間交流を支える基盤づくりを行う

II 生きがいと安心の生活をおくるための基盤づくり
 生きがいと安心の生活をおくるため、通学児童・生徒が利用する道路の歩道設置、交差点改良を進め、快適で安全な地域社会を実現する基盤づくりを行う

計画の成果目標 (定量的指標)	市道の改良率 歩道の整備率 要舗装修繕市道の舗装修繕率			
-----------------	-----------------------------------	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
市道の改良率 (改良済市道延長) / (市道総延長) ×100	55.4 %	56.1 %	56.9 %	当初現況値は市総合計画記載のH20を記載した
歩道の整備率 (歩道整備済延長) / (市道総延長) ×100	12.0 %	12.3 %	12.9 %	
要舗装修繕市道の舗装修繕率 (舗装修繕済市道延長) / (要舗装修繕市道総延長) ×100	0.0 %	40.0 %	80.0 %	

全体事業費	合計 (A+B+C)	3,688百万円 757 百万円	A	3,632百万円 725 百万円	B	0 百万円 0 百万円	C	56 百万円 32 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	1.5% 4.2%
-------	------------	----------------------------	---	----------------------------	---	----------------	---	-------------------------	---------------------------	---------------------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
滝沢市都市整備部にて事後評価を実施	平成29年10月
	公表の方法
	滝沢市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗

交付対象事業												上段：計画 下段：実績					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
10-A-1	道路	一般	滝沢市	直接		市町村道	交安	(他)第4 菓子線外	歩道設置0.2km 歩道設置0.1km	滝沢市						15	完了
10-A-3	道路	一般	滝沢市	直接		市町村道	交安	(2)第1 黒沢線外	歩道設置0.5km 歩道設置0.5km	滝沢市						77	完了
10-A-6	道路	一般	滝沢市	直接		市町村道	交安	(他)小岩井ニュータウン16号線外	路肩改良 1.1km 路肩改良 0.5km	滝沢市						64	完了
10-A-7	道路	一般	滝沢市	直接		市町村道	改築	(他)第2 湯舟沢線外	現道拡幅 0.4km 用地測量 一式	滝沢市						50	完了
10-A-8	道路	一般	滝沢市	直接		市町村道	改築	(1)菓子野沢線 菓子工区	現道拡幅 0.4km 用地補償 一式	滝沢市						450	156 防安へ
10-A-9	道路	一般	滝沢市	直接		市町村道	改築	(1)菓子野沢線 葉の木沢山工区	現道拡幅 0.7km -	滝沢市						700	0 防安へ
10-A-10	道路	一般	滝沢市	直接		市町村道	改築	(1)鶉飼姥屋敷線	現道拡幅 0.5km 用地補償 一式	滝沢市						150	22 H29完了
10-A-11	道路	一般	滝沢市	直接		市町村道	修繕	(他)紫野幹線	橋脚耐震補強(RC単柱)41.3m3径間 橋梁補修設計 一式	滝沢市						5	5 防安へ
10-A-12	道路	一般	滝沢市	直接		市町村道	修繕	(他)川前工区幹線	橋脚耐震補強(RC単柱)37.8m4径間 橋脚耐震設計 一式	滝沢市						105	6 防安へ

10-A-13	道路	雪寒	滝沢市	直接		市町村道	除雪	牧野林工区1号幹線外15路線	除雪 33.7km 除雪 33.7km	滝沢市							45	
10-A-15	道路	一般	滝沢市	直接		市町村道	改築	中鶉飼上ノ山線外交流拠点複合施設関連路線	交差点改良2箇所 現道拡幅0.3km 付替新設0.3km 用地補償一式 水路工事22m 樋門1箇所	滝沢市							380	H28完了
10-A-16	道路	一般	滝沢市	直接		市町村道	改築	スマートIC設置外関連路線整備事業	付替・新設0.8km 測量・設計 一式	滝沢市							1,020	別補助へ
10-A-17	道路	雪寒	滝沢市	直接		市町村道	除雪	牧野林工区1号幹線外15路線	除雪機更新 1台 除雪機更新 1台	滝沢市							21	
10-A-19	道路	一般	滝沢市	直接		市町村道	改築	(他)穴口・室小路地区連絡道	人道橋新設 詳細設計 一式	滝沢市							300	
10-A-20	道路	一般	滝沢市	直接		市町村道	改築	(他)第4砂込線	新設改良 0.5km 用地測量 一式	滝沢市							100	
10-A-21	道路	一般	滝沢市	直接		市町村道	改築	(他)第6湯舟沢線	新設改良 0.5km -	滝沢市							150	
小計																	725	

B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
										H22	H23	H24	H25	H26				
10-B-1																		
合計																		

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
10-B-1																

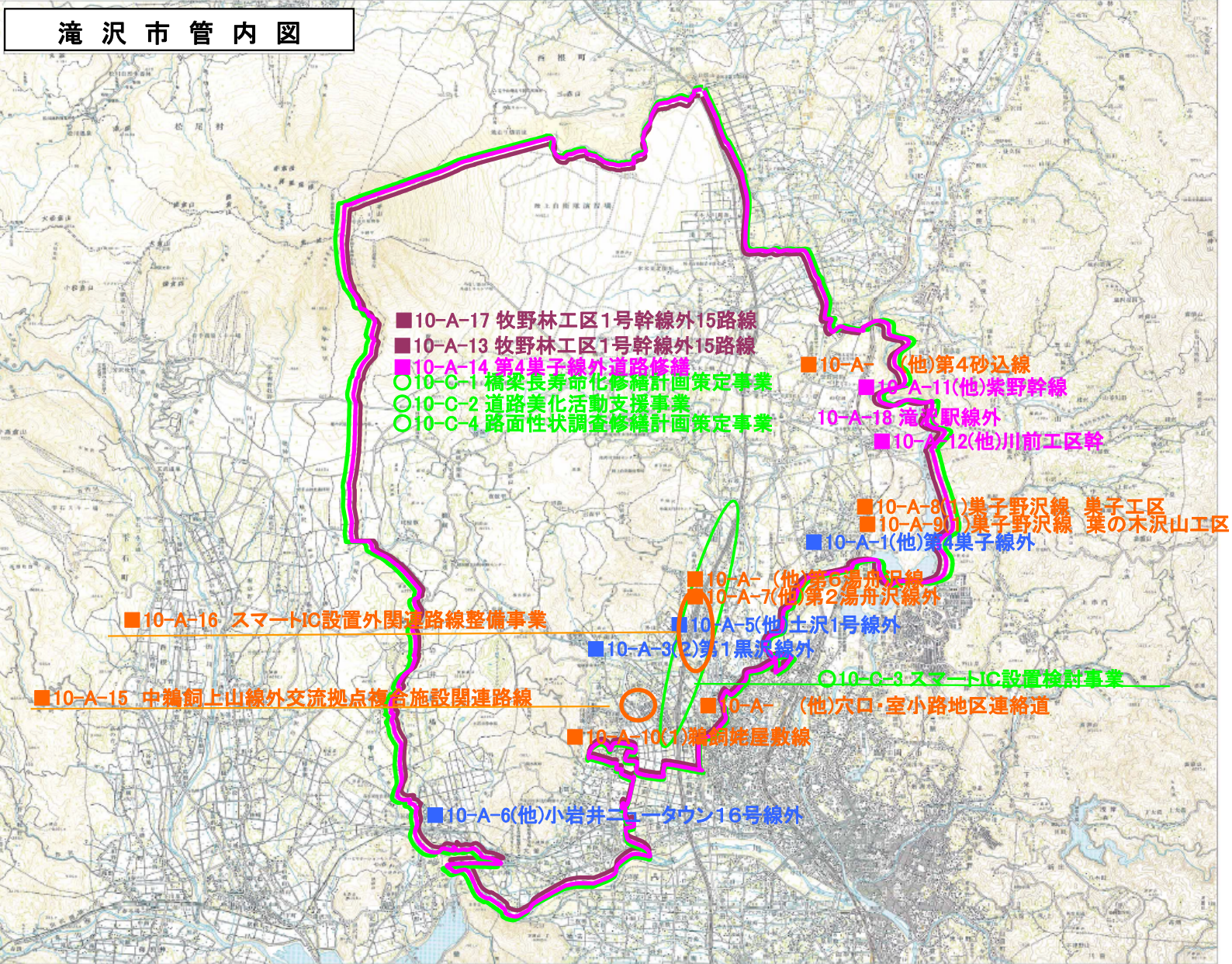
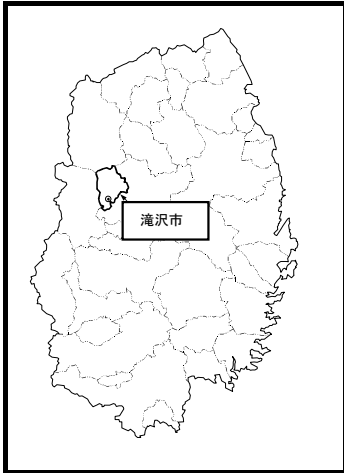
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
										H22	H23	H24	H25	H26				
10-C-1	計画・調査	一般	滝沢市	直接		計画・調査	橋梁長寿命化修繕計画策定事業	橋梁数 N=22 橋梁数 N=24	滝沢市							5	完了	
10-C-2	NPO等活動支援	一般	滝沢市	直接		NPO等活動支援	道路美化活動支援事業	軽トラダンプ8台、小型除雪機20台、刈払機24台、チェーンソー24台 軽トラダンプ3台、小型除雪機15台	滝沢市							36		
10-C-3	計画・調査	一般	滝沢市	直接		計画・調査	スマートIC設置検討事業	比較検討調査 比較検討調査	滝沢市							5	完了	
10-C-4	計画・調査	一般	滝沢市	直接		計画・調査	路面性状調査修繕計画策定事業	調査路線数 N=6 調査路線数 N=6	滝沢市							10	完了	
合計																	32	

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
10-C-1	橋梁の長寿命化計画の策定を行い、経済活動の基盤となる道路の橋梁補修を計画的かつ効率的に実施することにより、快適で安全・安心な通行を確保する。															
10-C-2	住民による村道の美化活動を支援するために必要な資機材等を提供し、快適な道路環境を確保する。															
10-C-3	高速自動車道へのアクセス性改善により、緊急医療輸送体制の確立、市街地の渋滞緩和、事故減少等が期待されることから、スマートIC設置箇所の比較検討を行う。															
10-C-4	路面性状調査を実施し、修繕計画を策定することにより、効果的に舗装修繕完了路線数を増やす。															

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・市道の改良率が高まったことにより、整備された路線とその周辺で車両通行時の見通しや安全性が高まった。 ・歩道整備率が高まったことにより、歩行者空間が確保され安全性が高まった。 ・舗装修繕率が高まったことにより、走行環境が向上した。 			
II 定量的指標の達成状況	市道の改良率を 55.4%（平成22年当初）から 56.9%（平成26年度末） とする。	最終目標値	56.9%	目標値と実績値 に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> ・道路事業により市道が整備され、規格改良済延長が増加し目標を上回った。 ・道路事業により通学路等の歩道が整備され、歩道整備延長が増加し、目標を上回った。 ・道路事業により市道が修繕され、舗装修繕延長が増加したが、要修繕箇所も増加し目標値を下回った。
		最終実績値	59.9%		
	歩道整備率を 12.0%（平成22年当初）から 12.9%（平成26年度末） とする。	最終目標値	12.9%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	13.3%		
	要舗装修繕市道の修繕率を 0%（平成22年当初）から 80%（平成26年度末） とする。	最終目標値	80.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	51.4%		
III 定量的指標以外の交付対象の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		<ul style="list-style-type: none"> ・車両、歩行者ともに安全性が確保され走行しやすい道路環境が整備されたことも一因として、市内の交通事故が減少している。 			
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> ・事業を継続して安全性の効果発現に寄与する。 ・産業経済の振興のためにも地域間のアクセス性を改善していく。 					

(参考図面)

計画の名称	10 生きがいと安心の生活を目指した、だれもが暮らしやすいまちづくりのための快適な道路環境の形成		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	滝沢市



- 【凡例】
- 地方道路整備事業(A)
 - △ 関連社会資本整備事業(B)
 - 効果促進事業(C)
- 《事業識別》
- 改築系
 - 区画・街路
 - 補修系
 - 交安系
 - 除雪

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 29年10月16日

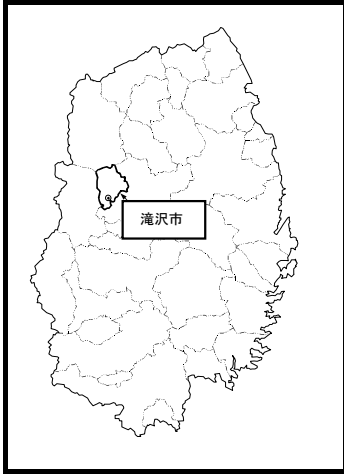
計画の名称	10 だれもが暮らしやすいまちづくりのための安全で安心な社会資本の整備 (防災・安全)																
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)					交付対象	滝沢市										
計画の目標	<p>I 地域経済基盤と地域間交流を確立する基盤づくり 学術研究機能の集積を活かしたIT産業・ものづくり産業の創出、地域資源を活かした地場産業の振興を図るため、産業経済活動と地域間交流を支える基盤づくりを行う</p> <p>II 生きがいと安心の生活をおくるための基盤づくり 生きがいと安心の生活をおくるため、通学児童・生徒が利用する道路の歩道設置、交差点改良を進め、快適で安全な地域社会を実現する基盤づくりを行う</p>																
計画の成果目標 (定量的指標)	市道の改良率 歩道の整備率 要舗装修繕村道の舗装修繕率																
定量的指標の定義及び算定式	市道の改良率 (改良済市道延長) / (市道総延長) ×100 歩道の整備率 (歩道整備済延長) / (市道総延長) ×100 要舗装修繕市道の舗装修繕率 (舗装修繕済市道延長) / (要舗装修繕市道総延長) ×100																
										定量的指標の現況値及び目標値			備考				
										当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)					
										55.4 %	56.1 %	56.9 %	当初現況値は市総合計画記載のH20を記載した				
										12.0 %	12.3 %	12.9 %					
										0.0 %	40.0 %	80.0 %					
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,041百万円 676百万円	A	1,031百万円 671百万円	B	0百万円 0百万円	C	10百万円 5百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		1.0% 0.7%						
事後評価																	
○事後評価の実施体制、実施時期																	
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期											
滝沢市都市整備部にて事後評価を実施						平成29年10月											
						公表の方法											
						滝沢市ホームページにて公表											
1. 交付対象事業の進捗																	
交付対象事業 上段:計画 下段:実績																	
A 基幹事業 (道路事業)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
10-A-2	道路	一般	滝沢市	直接		市町村道	交安	(他)一本木小学校線外	歩車共存道路0.7km 歩車共存道路0.7km	滝沢市						26 30	完了
10-A-4	道路	一般	滝沢市	直接		市町村道	交安	(2)第1菓子線外2路線	交差点改良 0.5km 3箇所 用地補償 一式	滝沢市						500 293	
10-A-5	道路	一般	滝沢市	直接		市町村道	交安	(他)土沢1号線 外	(自)歩道設置0.9km (自)歩道設置0.7km	滝沢市						125 128	完了
10-A-14	道路	一般	滝沢市	直接		市町村道	修繕	第4菓子線外道路修繕	舗装修繕・一部路肩改良11.8km 舗装修繕・一部路肩改良1.9km	滝沢市						150 122	
10-A-18	道路	一般	滝沢市	直接		市町村道	修繕	滝沢駅線外	舗装修繕 7.0km 舗装修繕 4.9km	滝沢市						230 98	完了
											合計					671	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
											合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
10-C-5	計画・調査	一般	滝沢市	直接		計画調査	法面・擁壁等安定度調査事業	法面・擁壁等安定度調査	滝沢市						5	
								-						0		
10-C-6	計画・調査	一般	滝沢市	直接		計画調査	道路付属物調査事業	道路照明等調査	滝沢市						5	
								道路照明等調査						5	完了	
										合計			5			
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				
10-C-5	法面・擁壁等の調査を実施し、修繕計画を策定することにより、効果的に修繕完了箇所数を増やす。															
10-C-6	道路照明等の調査を実施し、修繕計画を策定することにより、効果的に修繕完了箇所数を増やす。															
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況																
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・市道の改良率が高まったことにより、整備された路線とその周辺で車両通行時の見通しや安全性が高まった。 ・歩道整備率が高まったことにより、歩行者空間が確保され安全性が高まった。 ・舗装修繕率が高まったことにより、走行環境が向上した。 														
II 定量的指標の達成状況	市道の改良率を 55.4%（平成22年当初）から 56.9%（平成26年度末） とする。	最終目標値	56.9%	目標値と実績値 に差が出た要因	・道路事業により市道が整備され、規格改良済延長が増加し目標を上回った。											
		最終実績値	59.9%													
	歩道整備率を 12.0%（平成22年当初）から 12.9%（平成26年度末） とする。	最終目標値	12.9%	目標値と実績値 に差が出た要因	・道路事業により通学路等の歩道が整備され、歩道整備延長が増加し、目標を上回った。											
		最終実績値	13.3%													
	要舗装修繕市道の修繕率を 0%（平成22年当初）から 80%（平成26年度末） とする。	最終目標値	80.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	・道路事業により市道が修繕され、舗装修繕延長が増加したが、要修繕箇所も増加し目標値を下回った。											
		最終実績値	51.4%													
III 定量的指標以外の交付対象の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		<ul style="list-style-type: none"> ・車両、歩行者ともに安全性が確保され走行しやすい道路環境が整備されたことも一因として、市内の交通事故が減少している。 														
3. 特記事項（今後の方針等）																
<ul style="list-style-type: none"> ・事業を継続して安全性の効果発現に寄与する。 ・産業経済の振興のためにも地域間のアクセス性を改善していく。 																

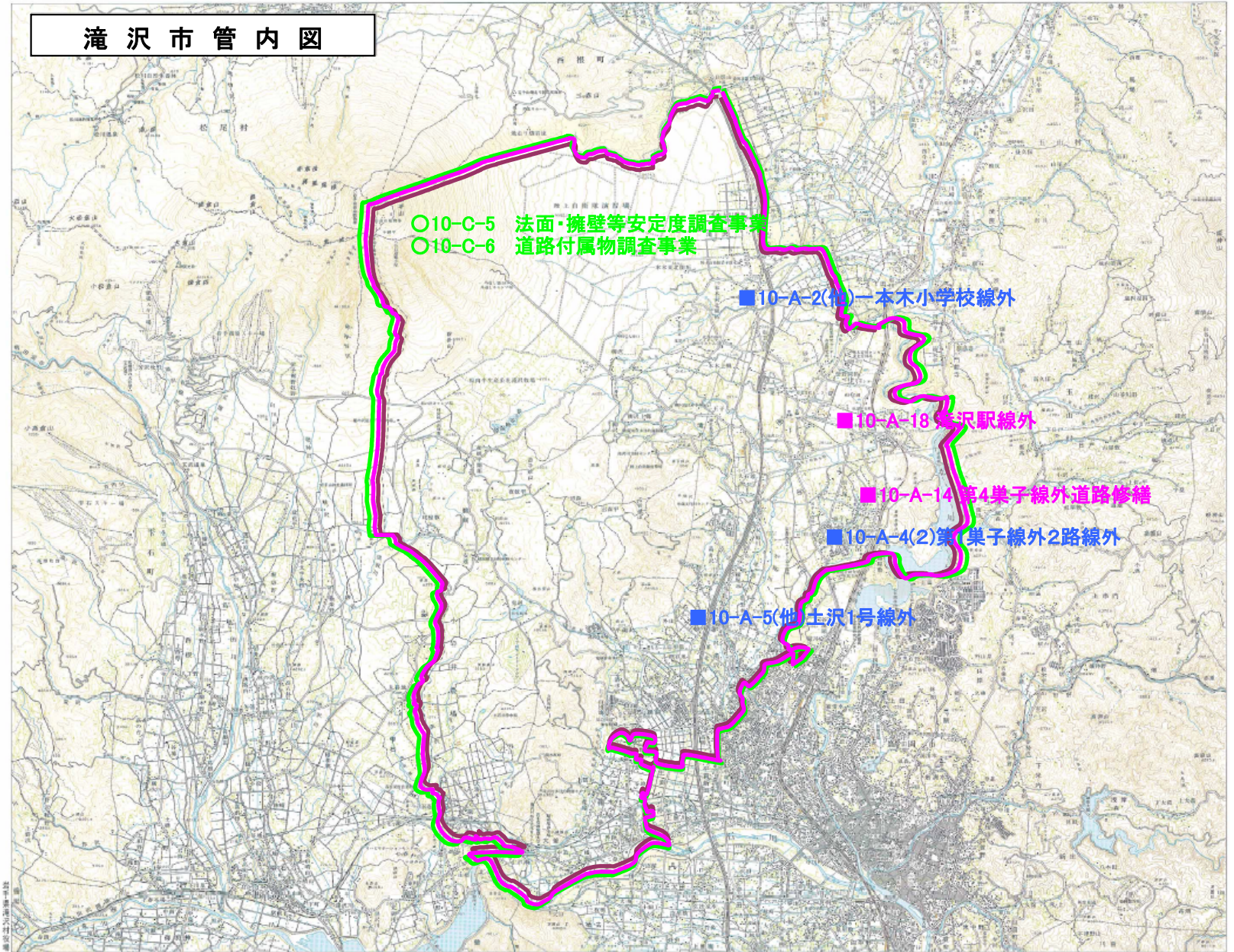
(参考図面)

計画の名称 10 だれもが暮らしやすいまちづくりのための安全で安心な社会資本の整備 (防災・安全)
計画の期間 平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)

交付対象 滝沢市



滝沢市管内図



【凡例】

- 地方道路整備事業(A)
- △ 関連社会資本整備事業(B)
- 効果促進事業(C)

《事業識別》

- 改築系
- 区画・街路
- 補修系
- 交安系
- 除雪